

1. サービス情報の提供・案内

子どもおよびその保護者に対して必要な情報を提供している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
1	サービスの内容がわかる最新の情報を措置の実施機関に提供している (メモ:)	1	2	3	
2	提供しているサービス内容に関する情報を、子どもおよびその保護者に伝達している	1	2	3	
3	利用希望者の特性を考慮し、必要に応じて広報媒体や簡易な表現などを工夫している (メモ:)	1	2	3	
4	利用希望者がサービス選択のために必要な情報は何かを把握し、それに基づいて情報を提供している (メモ:)	1	2	3	
5	関係機関と連携をとり、潜在的な利用希望者への情報提供を行っている (メモ:)	1	2	3	
6	事業所の広報誌等広報媒体の内容を点検し、改善するしくみを整備している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
子どもおよびその保護者の問い合わせや見学に対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
7	問い合わせ・見学受入の基本的方針や留意事項を明確化している (メモ:)	1	2	3	
8	問い合わせ等があった場合には、常に一定の内容を情報提供できるよう体制を整備している (メモ:)	1	2	3	
9	子どもに影響を与えない範囲で見学希望者の都合(曜日や時間)に対応し、見学を受け入れている (メモ:)	1	2	3	
10	外部からの問い合わせ等について子どもの心身の安全に配慮した対応を行う体制がある (メモ:)	1	2	3	
11	問い合わせや見学者から受けた質問を分析し、それをもとに説明資料を作成している	1	2	3	
12	問い合わせや見学の際の留意点を手引書にまとめ、職員間で共有している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
措置の実施機関へ必要な情報を分かりやすく提供している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
13	措置の実施機関に対し、事業所の機能や特徴について情報提供している (メモ:)	1	2	3	
14	事業所の現員の状況による新たに受け入れられる子どもの範囲について情報を提供している (メモ:)	1	2	3	
15	関係機関からの問い合わせへの対応体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

2. サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始にあたり子どもおよびその保護者に説明し同意を得ている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
16	重要な事項を説明する書類は、サービス内容等必要な情報がわかりやすい表現で記載している (メモ:)	1	2	3	
17	子どもおよびその保護者の状況に応じて、生活ルール、面会、外泊等についてわかりやすいパンフレット等により説明している (メモ:)	1	2	3	
18	サービスに関する重要事項等を説明する際に、子どもおよびその保護者の意向を確認し、記録化している (メモ:)	1	2	3	
19	サービスを開始する時には、サービス内容について、原則として子どもおよびその保護者の理解を得ている (メモ:)	1	2	3	
20	子どもおよびその保護者の状態により、立会人等の同席を勧め、重要事項等の説明を確実に理解できるようなしくみを整えている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
サービス開始当初の環境変化に順応できるよう支援している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
21	サービス開始時に子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している (メモ:)	1	2	3	
22	必要に応じて関係する諸機関から子どもに関する情報を集めて活用している (メモ:)	1	2	3	
23	これまでの生活の継続性をふまえた支援をしている (メモ:)	1	2	3	
24	利用開始直後には、新たな生活に適応できるように、子どもおよびその保護者の不安やストレスを軽減するよう配慮している (メモ:)	1	2	3	
25	サービス開始前に収集した情報が確実に職員間に共有化されているかどうか検証している (メモ:)	1	2	3	
26	子どもの個別状況に応じて、環境変化による負担を軽減し、事業所のルールや職員等に馴染むことのできるよう体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
子どもがサービス利用を終了する場合も、必要な対応を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
27	措置変更、措置解除になった場合、新たな事業所または自宅周辺の関係機関等に子どもおよびその保護者の了承を得たうえで情報提供している (メモ:)	1	2	3	
28	サービス利用終了後も必要に応じて、子ども及びその保護者からの相談に応じる体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
29	サービスの終了時には、子ども及びその保護者の不安を軽減するため、生活の継続性に配慮した情報提供やアドバイスを行っている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

3. 事業所におけるサービスの質の標準化

提供しているサービスの基本事項や手順等を明文化している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
30	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、提供しているサービスの基本事項や手順等を明文化している (メモ:)	1	2	3	
31	手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている (メモ:)	1	2	3	
32	日常のサービスがサービスの基本事項や手順等に添っているかどうかを点検するしくみを整えている (メモ:)	1	2	3	
33	手引書等は使いやすい場所にあり、必要な時にすぐ参照できるようにしている (メモ:)	1	2	3	
34	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している (メモ:)	1	2	3	
35	手引書等に記載している内容や表記方法の妥当性を検証している (メモ:)	1	2	3	
36	他の事業所等で定めているサービスの基本事項や手順等のよい部分を取り入れ、改善に活かしている (メモ:)	1	2	3	
37	職員の手引書等の活用状況を把握している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
提供しているサービスの基本事項や手順等について、見直しをする仕組みを確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
38	提供しているサービスの基本事項や手順等は、変更の時期や見直しの基準が定められている (メモ:)	1	2	3	
39	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども及びその保護者からの意見や提案が反映されるようなしくみを整えている (メモ:)	1	2	3	
40	提供しているサービスの基本事項や手順等の妥当性を検証するしくみを整えている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

サービスの基本事項や手順等を確保するために、さまざまな取り組みをしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
41	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている (メモ:)	1	2	3	
42	職員が一定レベルの支援方策を学べるよう、サービスの場面に沿った基本事項を体得する機会を設定している (メモ:)	1	2	3	
43	職場内外の教育や業務を通じての個別指導等の実施により、職員のレベルアップを図っている (メモ:)	1	2	3	
44	個々の職員の日常のサービスのあり方、援助技術や支援方法について指導者が評価・指導している (メモ:)	1	2	3	
45	職員がわからないことが起こった場合は、気軽に指導者や先輩に尋ねるよう周知する等、相談しやすくしている (メモ:)	1	2	3	
46	事業所全体のサービス提供レベルが一定水準に達しているかどうかを確認し、必要な対応をしている (メモ:)	1	2	3	
47	必要に応じて外部の専門家等を招き、職員の対応について指導や助言を受けている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
職員は、サービス向上を目指し、臨機応変に対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
48	事業所が提供しているサービスの一定水準を踏まえた上で、子どもの状況や場面に応じた対応を行っている (メモ:)	1	2	3	
49	各担当者が工夫・改善した良いサービス事例などをもとに、サービスの基本事項や手順等の改善方策やその必要性を、会議や勉強会で確認している (メモ:)	1	2	3	
50	子どもの状況に合わせて、臨機応変な対応が実質化できるよう、組織体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
51	通常想定されない緊急事態や突発的な事態が生じた場合の対応においても、基本となる方針や事項が職員間で共有化されている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

4. 個別状況に応じた計画策定(個別対応の重視)

定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
52	子どもの身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している (メモ:)	1	2	3	
53	個別の子どもおよびその保護者のニーズや課題を明示する手続きが決められている (メモ:)	1	2	3	
54	個別の子どものケース記録等に、具体的なニーズや課題が明記されている (メモ:)	1	2	3	
55	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている (メモ:)	1	2	3	
56	記録の書式にある項目の妥当性や的確性を検証している (メモ:)	1	2	3	
57	記入の仕方や表現の的確性をチェックするシステムが整備されている (メモ:)	1	2	3	
58	子どもおよびその保護者の個別要望に応じた支援ができるよう記録内容を常に更新し、活用している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
子どもおよびその保護者の希望と関係職員の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
59	計画は、子どもおよびその保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている (メモ:)	1	2	3	
60	計画は、自立支援の視点に基づいて作成している (メモ:)	1	2	3	
61	計画は、関係する職員が合議で作成、見直しをしている (メモ:)	1	2	3	
62	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している (メモ:)	1	2	3	
63	計画を子どもおよびその保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている (メモ:)	1	2	3	
64	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めた上で、必要に応じて見直ししている (メモ:)	1	2	3	
65	設定されている目標への取り組み及び達成状況を確認している (メモ:)	1	2	3	
66	必要に応じて外部の専門家等から、計画に関する助言や指導を受けている (メモ:)	1	2	3	
67	計画は事業所内だけでなく、必要に応じて事業所外にある地域の社会資源の利用を視野に入れている (メモ:)	1	2	3	
68	計画は、一人ひとりの子どもの個性や生活リズムなどを尊重したケアを実現できるように作成している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
69	子ども一人ひとりの記録等の書面を整備し、計画の実施状況を記録している (メモ:)	1	2	3	
70	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している (メモ:)	1	2	3	
71	子どもの記録の保管、保存、廃棄に関する規程を定めている (メモ:)	1	2	3	
72	個別の子どもに関する情報が過不足なく記録されているかどうかを検証し、記録様式の見直しなどを行っている (メモ:)	1	2	3	
73	子どもおよびその保護者と共に、サービスの実施状況を確認し、記録を作成する取り組みを行っている (メモ:)	1	2	3	
74	記録されている内容を会議等で議論したり、指導的な立場にある職員がチェックするなど妥当性や的確性を検証している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
75	計画の内容や個人の記録について、関係する職員すべてが共有できるようにしている (メモ:)	1	2	3	
76	申し送り・会議等により、子どもへの支援に必要な個別情報の内容を確認し、共有化している (メモ:)	1	2	3	
77	申し送りや引継ぎの際に引き継ぐべき事項や留意点などを明確にし、引継ぎ内容を記録している (メモ:)	1	2	3	
78	子どもの個別情報やサービス実施計画の活用状況を検証するしくみがある (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

5. サービスの実施

施設での生活は楽しく快適で子どもの自主性を尊重し、子どもの立場にたって支援している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
79	個別の子どもの状況に配慮して部屋割りを行っている (メモ:)	1	2	3	
80	居室には防災上支障のない範囲で子どもの好みの装飾品などを自由に置いている (メモ:)	1	2	3	
81	居室や食堂などの共用スペースの温度や湿度は、子どもの状況に配慮した基準により設定している (メモ:)	1	2	3	
82	内装や展示、植物などによって子どもがやすらげる雰囲気づくりをしている(庭・屋上等含む) (メモ:)	1	2	3	
83	入浴・シャワー等の使用時間は、子どもの年齢等を考慮してに設定している (メモ:)	1	2	3	
84	娯楽・買い物などの外出は子どもの希望を考慮して行っている (メモ:)	1	2	3	
85	衣類などは子どもの年齢等に応じて購入方法を工夫している (メモ:)	1	2	3	
86	行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている (メモ:)	1	2	3	
87	小遣いは子どもの状況に応じて個人管理している (メモ:)	1	2	3	
88	友人の来訪が可能である (メモ:)	1	2	3	
89	施設での禁止事項は利用者・家族などの意見を参考に見直しを行っている (メモ:)	1	2	3	
90	子どもの意向を取り入れて、多様な趣味の活動の場を用意している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

栄養バランスを考慮した上で、おいしい食事を出している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
91	季節感のあるメニューや味付け・行事食の工夫など飽きのこない食事を提供している (メモ:)	1	2	3	
92	温かいもの、冷たいものは、メニューや本人の健康状況などに合った適温で提供している (メモ:)	1	2	3	
93	関係職員の意見を聞いたり、子どもの嗜好調査や残さい調査をしてメニューに反映している (メモ:)	1	2	3	
94	食器(茶碗・湯のみ・箸など)は個人用となっている (メモ:)	1	2	3	
95	子どもの状態にあった椅子・テーブルを用意している (メモ:)	1	2	3	
96	外食の機会を定期的に設けている (メモ:)	1	2	3	
97	食事時間は子どもの希望や生活状況に応じて延長やずらすことができる (メモ:)	1	2	3	
98	子どもが病気のときは病児のための食事を提供している (メモ:)	1	2	3	
99	食物アレルギーの対応は、主治医等の指示に従い、除去食などの対応を行っている (メモ:)	1	2	3	
100	入所もない子ども等には、苦手な食べ物は、内容を変更するなど、柔軟に対応している (メモ:)	1	2	3	
101	子どもの誕生日には、誕生者の好みを尊重したメニューにしている (メモ:)	1	2	3	
102	子どもの年齢等に応じた、量や食べやすさ等の調整のための申し送りなどの連携を行っている (メモ:)	1	2	3	
103	食事場所は安全性に配慮した上で、食堂以外の場所も選んで提供している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

子どもの健康を維持するための支援を行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
104	子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している (メモ:)	1	2	3	
105	子どもの体調に変化(発作等の急変を含む)があったときには、速やかに対応できる体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
106	常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠・食事摂取・排泄等の状況を職員が把握している(特に幼児への対応) (メモ:)	1	2	3	
107	子どもの服薬管理には誤りがないようチェック体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
108	健康に関する子どもからの相談に応じる体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
109	健康状態に関して、必要に応じて子どもや家族に説明をしている (メモ:)	1	2	3	
110	入所もない子どもの健康状態(口腔ケア、視力等)に配慮し、健康回復のための支援をしている (メモ:)	1	2	3	
111	子どもの健康に関して、必要に応じて他職種の職員や外部の専門家が連携をとり検討するしくみがある (メモ:)	1	2	3	
112	医療的なケアが必要な子どもに対する支援の方法について勉強会を行なうなどの取り組みをしている (メモ:)	1	2	3	
113	個別状況に配慮しながら個別の服薬(投薬)や薬暦のチェックなど、服用の方法に配慮するしくみがある (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
子どもの精神面でのケアについて様々な取り組みを行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
114	性についての正しい知識と理解が得られるよう、子どもの年齢や状況に応じた説明を担当者が行っている (メモ:)	1	2	3	
115	生活の中で、子どもが心の悩みや不安を相談できる体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
116	子どもの抱える問題(被虐待、ADHD、LD、行為障害、知的障害、精神障害、性等)に対応するために、それぞれの専門家と連携している (メモ:)	1	2	3	
117	職員と専門家が連携をとり、心理的ケアの効果を高めるためにケースカンファレンス等を行っている (メモ:)	1	2	3	
118	学校等の関係機関と連携し、定期的に情報交換を行い問題の共有化を図っている (メモ:)	1	2	3	
119	子どもの抱える問題(被虐待、ADHD、LD、行為障害、知的障害、精神障害、性等)について職場内研修を実施している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

子どもの自立(自活、就学、就労)に向けての様々な取り組みを行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
120	自立のために必要な情報を子どもに提供している (メモ:)	1	2	3	
121	自立に向けた支援は子どもの希望を尊重している (メモ:)	1	2	3	
122	児童自立支援計画にもとづいた支援を実施している (メモ:)	1	2	3	
123	基本的な生活技術(炊事、洗濯、掃除等)を身に付けられるよう、自活のための取り組みを行なっている (メモ:)	1	2	3	
124	個別に必要な時期・状況で、自立(自活・就学・就労)に向けての体験学習を行なっている (メモ:)	1	2	3	
125	子ども一人ひとりの自立に向けて、関係機関(学校、就労先、児童相談所等)と緊密な連携をとりながら支援を行っている (メモ:)	1	2	3	
126	退所(卒園)した子どもが訪ねてきた時に温かく迎えている (メモ:)	1	2	3	
127	退所した子どもの名簿(情報)を作成し職員が異動しても対応できる体制ができています (メモ:)	1	2	3	
128	退所した子どもに(定期的に)電話連絡するなど必要な支援をしている。 (メモ:)	1	2	3	
129	必要に応じて退所(卒園)した子どもに電話連絡や訪問・面会をし、支援を行っている (メモ:)	1	2	3	
130	子どもの必要状況に応じて、フレンドホームを有効に活用している (メモ:)	1	2	3	
131	退所(卒園)した子どもが宿泊できる部屋がある (メモ:)	1	2	3	
132	新たな再就職等アフターケアとして自立を支援している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

家族との再統合に向けた取り組みを行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
133	子どもや保護者の状況、意向・希望を把握し、家庭関係の調整を行なっている (メモ:)	1	2	3	
134	家族との再統合に向け、把握している情報等を子どもや保護者等の同意を得て、児童相談所と相互に交換している (メモ:)	1	2	3	
135	再統合への取り組みは、児童相談所と連携しながら行なっている (メモ:)	1	2	3	
136	家族からの相談に対応する担当職員(家庭支援専門員など)の存在をわかりやすく明示している (メモ:)	1	2	3	
137	子どもの保護者等の来訪は基本的に歓迎しており、日時等可能な限り希望に応じている (メモ:)	1	2	3	
138	子どもの状況や行事等の情報を個別の連絡により保護者等に知らせている (メモ:)	1	2	3	
139	学校等の参観日・行事等に保護者が参加しやすく支援している (メモ:)	1	2	3	
140	家族等との外出・外泊は子どもの安全に配慮しながら行なっている (メモ:)	1	2	3	
141	養子縁組や養育家庭を必要とする子どもが、機会を逃さず制度を活用できるように児童相談所に働きかけている (メモ:)	1	2	3	
142	子どもと保護者等が施設内に宿泊できるような配慮をしている (メモ:)	1	2	3	
143	再統合が望ましい子どもをリストアップし、児童相談所と協議している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
個別の子どもに応じた学力向上・進路決定のための取り組みを行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
144	学習の必要性を子どもが理解できるよう説明している (メモ:)	1	2	3	
145	子どもの状況に応じて、宿題、補習などについて学習支援を行なっている (メモ:)	1	2	3	
146	基礎学力の向上・学習習慣獲得のための支援をしている (メモ:)	1	2	3	
147	進路について子どもの希望を尊重し、望ましい進路を検討している (メモ:)	1	2	3	
148	必要に応じて学習ボランティアを活用している (メモ:)	1	2	3	
149	子どもの能力や状況に応じて、通学する学校を選択するなどの配慮をしている (メモ:)	1	2	3	
150	子どもの意思や能力に応じた学習教材等を活用している (メモ:)	1	2	3	
151	静かで落ち着いて学習できるスペースを確保している (メモ:)	1	2	3	
152	進路について、子どもと保護者等、学校、施設の四者による話し合いを行っている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

6. プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

子どものプライバシーの保護を徹底している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
153	事業所は子どもの個人情報等を、厳密に守らなければならないことを、子どもおよびその保護者に周知している (メモ:)	1	2	3	
154	職員に個人情報に関する守秘義務を徹底している (メモ:)	1	2	3	
155	個人情報に関する守秘義務の規程整備等、組織として具体的に取り組んでいる (メモ:)	1	2	3	
156	子どもおよびその保護者から開示請求があった場合の対応など、個人情報に関する開示の規程を定めている (メモ:)	1	2	3	
157	記録の管理等について、プライバシー保護と情報開示の観点から、教育・指導を行っている (メモ:)	1	2	3	
158	子どもに関して他機関に照会したり相談したりする際には、子どもおよびその保護者の承諾を得るようにしている (メモ:)	1	2	3	
159	外部の研修会等で、子どもの情報を外部に提出する際には、子どもおよびその保護者に説明をし、納得を得るようにしている (メモ:)	1	2	3	
160	個人の所有物や郵便物の扱い、居室への職員の出入りに当たっては、子どものプライバシーに配慮している (メモ:)	1	2	3	
161	子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている (メモ:)	1	2	3	
162	プライバシー保護が求められる理由や事業所の基本姿勢を子どもおよびその保護者にわかりやすく伝えている (メモ:)	1	2	3	
163	広報誌等発行物の作成時には、子どもの記述に関して個人が特定されるなど不適切な記述がないかどうか責任者を決めてチェックしている (メモ:)	1	2	3	
164	郵便は個別の子ども専用のポストを設置している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
165	日常のプログラムや行事の参加については、個人の意思を尊重している (メモ:)	1	2	3	
166	思想・信条などの自由が確保されており、子どもの意思に基づく支援を行っている (メモ:)	1	2	3	
167	子どもが一人でいたい時には、希望にそうようしている (メモ:)	1	2	3	
168	子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、会議等で対策を検討している (メモ:)	1	2	3	
169	「子どもの権利ノート」などにより、自分の権利と自分以外の子どもの権利双方の尊重について理解するための時間を設けている (メモ:)	1	2	3	
170	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながらケアに努める体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
171	施設内外でいじめを受けていないか、行っていないかに普段から注意を払い、問題発生時には解決のためのしくみが機能している (メモ:)	1	2	3	
172	子ども個人の価値観や生活習慣に配慮した支援を行うという基本的考え方を共有化している (メモ:)	1	2	3	
173	一定のルールの下で、入浴時間や嗜好品の摂取等これまでの生活習慣を尊重した支援を行っている (メモ:)	1	2	3	
174	子どもの呼称などにおいても、個人の尊厳を尊重して対応している (メモ:)	1	2	3	
175	子どもの基本的な権利について、日常生活の中でわかりやすく説明をしている (メモ:)	1	2	3	
176	虐待が疑われる場合には、事業所内や関係機関等に相談できるしくみを整えている (メモ:)	1	2	3	
177	子どもが、自らがかけがえのない存在であることを学び、自己肯定感を高めることができるような取り組みを行っている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

7. 安全管理

子どもの安全確保のための体制を整備している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
178	事故(感染症、災害を含む)等が発生した場合に速やかに責任者に報告する体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
179	現場職員が参加する安全管理・事故防止の検討会を開催し、対応策を検討している (メモ:)	1	2	3	
180	安全管理について、リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制を整備している (メモ:)	1	2	3	
181	安全管理・事故防止に関する取り組みを、定期的に評価・見直している (メモ:)	1	2	3	
182	事故等に対応するための手引書(基準書・手順書・マニュアル)等を整備し、職員に周知徹底している (メモ:)	1	2	3	
183	安全管理・事故防止に関する知識・技術を共有化する取り組みをしている (メモ:)	1	2	3	
184	事故等が発生した場合、所管官庁、保健所、警察等関係機関に速やかに報告する体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
185	関係機関と連携をとり、事故等の拡大防止策を検討し、実施している (メモ:)	1	2	3	
186	手引書等に記載された安全確保方策が、子どもの視点に立ったものか、子どもの自由度のバランス均衡を保ったものかという視点から点検している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
187	発生した事故及び事故につながりそうになった事例を記録し、蓄積している (メモ:)	1	2	3	
188	発生した事故について、発生要因を分析し、再発防止策・事故予防策を検討している (メモ:)	1	2	3	
189	事故につながりそうになった事例について、発生要因、事故にならなかった要因等を分析し、事故予防対策を検討している (メモ:)	1	2	3	
190	事故を防止するために、事業所内で援助技術、職員体制についての検討、見直しを行っている (メモ:)	1	2	3	
191	事業所内の設備(薬・危険物の保管を含む)について、定期点検を行うなど、事故の発生を予防している (メモ:)	1	2	3	
192	子どもおよびその保護者に対して、事故(利用者のケガ等医療に関する事故以外に物損含む)についての事業所の対応方法を明確にしている (メモ:)	1	2	3	
193	子どもの行動特性を日常的に記録し、事故予防対策に反映している (メモ:)	1	2	3	
194	経験の浅い職員等には、日常的な業務の中で、子どもの事故予防につながる援助技術を実践的に教える体制を整備している (メモ:)	1	2	3	
195	地域の関係機関との連携のもとに、事故予防策を考慮している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

8. 要望・苦情・トラブルへの適切な対応

子どもおよびその保護者が意見を述べやすい環境や相談体制を整備している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
196	子ども及びその保護者の意見や要望を聞き相談に応じる体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
197	意見箱、子どもおよびその保護者の懇談会、アンケート等で事業所側が積極的に意見や要望・苦情を聞いている (メモ:)	1	2	3	
198	子どもおよびその保護者が他者に知られたくないことを個別に相談できるようにしている (メモ:)	1	2	3	
199	日常的に接する職員以外に子どもおよびその保護者が相談相手や相談方法を選択できることを伝えている (メモ:)	1	2	3	
200	子どもが参加する新しい活動やプログラムを始める際は、必ず子どもおよびその保護者の意向を反映できるようなしくみを整えている (メモ:)	1	2	3	
201	日常生活の中に、常に子ども本人が選択したり、意思を表明できる機会を設ける工夫をしている (メモ:)	1	2	3	
202	関係機関や専門家と連携し、相談体制を整えている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
203	第三者委員の設置など、意見や要望・苦情の窓口や苦情対応体制について、わかりやすく子どもおよびその保護者に説明し、利用を促している (メモ:)	1	2	3	
204	苦情解決の責任者は全ての苦情とその対応結果を把握している (メモ:)	1	2	3	
205	要望・苦情申し出から検討経緯、申し出等への報告、改善までの内容を記録している (メモ:)	1	2	3	
206	要望・苦情に対する検討内容や対応策を、苦情を申し出た子どもおよびその保護者や家族等にフィードバックしている (メモ:)	1	2	3	
207	苦情を申し出た子どもおよびその保護者に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している (メモ:)	1	2	3	
208	意見・提案を受けたときの記録の方法や報告の手順、対応策の検討、公表のルール等を規定した手引書を整備している (メモ:)	1	2	3	
209	コミュニケーション能力や判断能力の充分でない人々等が苦情・要望等を表明しやすいよう職員間で検討し、成果をあげている (メモ:)	1	2	3	
210	外部の専門家等に相談し、苦情解決の仕組みに関する改善提案を受け、さらなる改善をしている (メモ:)	1	2	3	
211	子どもおよびその保護者からの苦情が発生したときの対処方法を検討・蓄積し、予防・再発防止に活用している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

子どもおよびその保護者からの意見等に対して組織的に迅速な対応をしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
212	要望や苦情が出されたら方針を定め、速やかに初期対応をしている (メモ:)	1	2	3	
213	要望や苦情の中で、組織的な対応が必要なものについては、会議等で方針を検討している (メモ:)	1	2	3	
214	対応に時間がかかる場合には、今後の見通しについて説明している (メモ:)	1	2	3	
215	要望・苦情をサービスの向上に反映している (メモ:)	1	2	3	
216	苦情や要望をきっかけにして業務改善した場合はその内容をまとめ、子どもおよびその保護者、地域社会等に積極的に周知している (メモ:)	1	2	3	
217	要望や苦情を出した人だけでなく、関係する人たちに対応の経緯を説明している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

9. 地域との交流・連携

子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
218	地域との関わりについての基本的な考え方を明文化している (メモ:)	1	2	3	
219	地域の情報を収集し、子どもの状況に応じて提供している (メモ:)	1	2	3	
220	事業所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している (メモ:)	1	2	3	
221	子どもの買い物、通院など日常的に、地域のさまざまな資源を利用する機会を設けている (メモ:)	1	2	3	
222	子どもの活動範囲を広げたり子どもが地域の中で日常の時間を過ごす機会を確保するような取り組みを行っている (メモ:)	1	2	3	
223	子どもおよびその保護者が地域との交流によって得た意見や要望を、積極的に地域にフィードバックしている (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

事業所の機能、特性にもとづく知識・技術等の専門性を地域に還元している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
224	集会室等の施設設備や備品等を地域に開放している (メモ:)	1	2	3	
225	地域の人や関連施設を対象に、子どもや施設機能の理解を深めたり支援方法等を伝えるための企画・啓発活動等(地域住民を対象にした情報提供・介護教室等の研修会や講師派遣等)を行っている (メモ:)	1	2	3	
226	地域住民の主体的な参加を得て、研修会等を企画し、実施している (メモ:)	1	2	3	
227	地域住民のニーズに基づき、子育てサークル・介護者の集いなど住民の自主的な活動に対して、支援・協力している (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					

ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
228	ボランティアや地域住民の福祉体験の受け入れ等に対する基本姿勢を文書化している (メモ:)	1	2	3	
229	ボランティア等の受け入れ体制を整備している(担当者の明確化、手引書の整備) (メモ:)	1	2	3	
230	ボランティア等に、子どもの守秘義務、子どもに関する留意事項等を伝えている (メモ:)	1	2	3	
231	ボランティアに対するオリエンテーション・研修等を行っている (メモ:)	1	2	3	
232	ボランティアから、受け入れや活動の際の方針や事業所の日常の業務の改善点を聴取し、改善に取り組んでいる (メモ:)	1	2	3	
233	ボランティア等の受け入れによって得られた成果を分析し、日常の業務改善に活かす取り組みがある (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					
地域の必要な社会資源を把握し、関係機関との連携を図っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
234	地域の関係機関・団体について、機能や組織とのつながりを明確にしたリストを作成している (メモ:)	1	2	3	
235	関係機関と定期的な連絡会を行っている (メモ:)	1	2	3	
236	地域の関係機関のネットワーク化に取り組んでいる (メモ:)	1	2	3	
237	ネットワーク内で共通する問題に対して、解決に向けて共同して具体的な取り組みを行っている (メモ:)	1	2	3	
238	関係機関との連携のあり方を日常活動から分析し、改善に取り組んでいる (メモ:)	1	2	3	
その他の項目:					